

長畑区小地域福祉活動推進委員会(福岡県苅田町)

(構成：25名 小地域福祉活動推進委員、福祉委員、区(自治会)、民生委員・児童委員、幸友会(老人クラブ)、育成会、山笠保存会)

《活動主体の概要》(平成27年4月1日現在)

総人口：818人

高齢者数：231人

世帯数：332世帯

産業構造：以下、この部分については地理的構造に含まれる。

地理的構造：苅田町は、東は周防灘に面しており、苅田港と広大な臨海工業地帯が広がっている。一方で、西は平尾台のカルスト台地に連なり、国の天然記念物である青龍窟や広谷高原があり、麓には緑豊かな田園地帯が広がっている。また、2006年には苅田港沖に北九州空港が開港し、苅田港・東九州自動車道苅田北九州空港インターチェンジと合わせ、陸・海・空の交通結節拠点となっている。

長畑区については、住宅が立ち並んでおり、定住している方が多いのが特徴である。また近くには苅田小学校・苅田中学校があり、平成27年4月には長畑区内の介護老人保健施設内に地域包括支援センターかんだが設置された。

活動のきっかけ

平成11年度より「地域」にある福祉課題をみんなで取り込んでいく目的で、小地域福祉活動をスタート。当初は独り暮らし高齢者や高齢者夫婦世帯、介護世帯等の高齢者の福祉課題の解決が主な目的であったが、現在では、障がいがある方、孤立している方、幼い子どもがいる方等も対象に、幅広い福祉課題の解決を目的とし、地域コミュニティの活性化を目指している。

具体的には、月に1回、区民の交流やとじこもり防止を目的に開催している「ふれあいいいききサロン」の他、少人数制のミニサロン、ご近所の見守り・声かけ活動、見守り会議の実施、災害時の要援護者支援体制づくり等を行っている。

活動方法

月に1回集会所にて「ふれあいいいききサロン」を開催し、毎回70名以上の参加者があり、区内の高齢者等の状況の把握に努めている。「ふれあいいいききサロン」の開催にあたっては、各隣組で呼びかけを

行い、チラシをもって対象者宅を訪問している。

また、大人数のサロンへ参加できない人のために、自宅や集会所、区内にある介護施設にて10名程度の「ミニサロン」を年に数回開催している。

見守り活動は、「訪問カード」を作成し、本人の状況や家族等の連絡先等をヒアリングしている。「訪問カード」でヒアリングした情報をもとに、「見守り会議」を年に1回開催し、隣組ごとの見守りが必要な人の情報交換、意見交換を行い、普段の見守り活動へ活かしており、特に「気になる人」に対しては、町役場、社協だけでなく、地域包括支援センター、相談支援事業所(障がい)等の専門機関とも連携し、個別のケース会議を開催する等対応をしている。

また、区内の災害時等の危険箇所を確認し、「見守り会議」や「訪問カード」の情報と「避難行動要支援者台帳」を合致させ、災害が起こったときに支援が必要な方を迅速に支援ができるよう今年度から取り

組みを始めている。



工夫点

見守り訪問カードを作成し、独り暮らし高齢者、障がいがある方、孤立気味な方等を把握し、区（自治会）役員、民生委員・児童委員、幸友会（老人クラブ）役員、育成会役員、隣組長、山笠保存会役員を見守り協力者として、普段の生活の中で見守りを行い、カーテンや戸の開け閉め、洗濯物を干している等、具体的にどこを注意して見守ればいいのか確認している。

また、今年度は区民の見守り意識の向上のため、「のぼり」を作成し、集会所や区内にたてて、見守り活動の啓発を行っている。



成果

区民の福祉意識が向上し、気になることや問題、緊急なことが地域の中で発生した場合は、隣組長や会長（区長）、民生委員・児童委員、福祉委員へ連絡が入るようになり、トラブルの未然防止、家族への迅速な連絡、行政や専門機関等との連携につながっている。

特に、障がいがある方、認知症の方等、専門的な対応が必要な場合は、専門機関と連携しつつ、対応にあたることで、安心し

て地域で生活することができている。

課題

長畑区は昔ながらに住む方と新しい団地に区外・町外から越してきた方がいるために、神幸祭（苅田町のお祭り）、盆踊り、育成会活動、サロン、その他の区活動を通して、地域の結びつきを今以上に強めていく必要性を感じている。

特に、ここ数年、高齢世帯や独り暮らし世帯が急激に増えてきており、福祉委員や推進委員だけでなく、区全体で福祉課題の解決に取り組みたい。

また、小地域福祉活動推進委員や福祉委員も高齢化がすすんできており、新しい世代へこの活動を引き継いでいくことが大切だと考えている。

代表者、事業者等の声

長畑区小地域福祉活動のキャッチフレーズ『広げよう人の輪（わ） 育てよう心の和（わ） 活かそう話（わ）の力』の通り、地域から「孤立・孤独」をなくし、人とのかかわりが気楽にできる関係づくり、あいさつが出来る地域づくり、適度な世話焼き（おせっかい）が可能な人間関係づくりを目指して、区民が一丸となって活動を継続していきたい。

その他（適度なおせっかい）

地域に問題を抱えた「孤立した方」がいた場合、支援をした方がいいとみんな思うが、実際に支援に当たるとなると、「家庭の問題だから・・・」と「総論賛成、各論反対」となる場合がある。

「孤立した方」へは、会長（区長）や民生委員・児童委員を中心に何度も訪問し、家族や本人と膝を突き合わせて話すことで、人間関係を築き、適切な支援が出来るようにしたいと考えている。

時間がかかることも多いが、押し付けとまらないよう人間関係を築き、「適度な世話焼き」ができるよう心がけている。